

日本、紛争被害地域への救急車・医療機材の供与

2023年11月14日、伊藤大使は、令和4年度補正予算を用いてUNFPAに対して支援した「アムハラ州とベニシャンゲル・グムズ州(BG州)の紛争被災地区におけるセクシャル・リプロダクティブ・ヘルス(SRH)支援とジェンダーに基づく暴力(GBV)対策」プロジェクトの引渡式に出席しました。

本案件では、救急車1台をアムハラ州保健局へ供与し、またアムハラ州とBG州の両州保健局に対し、保健施設の医療機材、女性・少女の緊急保護や生活支援の資材を供与し、さらに2州の保健医療機関職員の技術や知識を向上させるための能力研修を実施します。

対象2州では2022年11月の北部紛争の停戦合意後も、GBV被害を受けた女性が数多く保護されており、その数は紛争中よりも増加の傾向にあります。今回支援した救急車や医療機材は、性的・ジェンダー暴力の被害者、妊産婦などを含む女性・少女に対して適切な保健医療サービスを提供するために活用されます。

引渡式において、伊藤大使は、我々は人間の命と尊厳が最も重要であるとの原点に立ち返り、脆弱な人々も安全・安心に住める世界、すなわち、人間の尊厳が守られる世界を目指すべきであるという日本政府を述べ、本件プロジェクトが脆弱な女性や女兒等の苦しみを緩和することを希望する旨述べました。

【写真】

